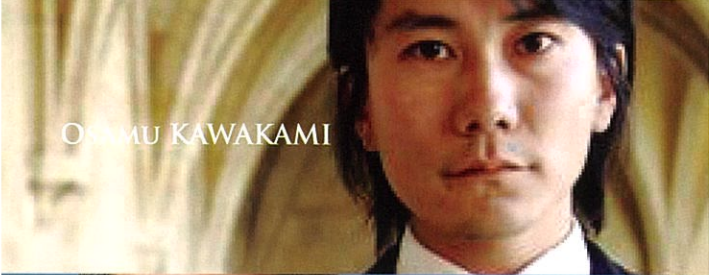


ISAMU KANAI



OSAMU KAWAKAMI



SHIN-ICHI FUKUDA



KUMI MORIKAWA



KENTARO KAWASE



TOSHIO HOSOKAWA

# 次世代の作曲家たち

細川俊夫が注目する作曲家が「ヒロシマ」をテーマにした作品を世界初演

○音楽監督・お話  
細川俊夫

○指揮  
川瀬賢太郎

○委嘱作曲家  
川上 統  
金井 勇

○演奏  
福田進一(ギター)  
森川公美(フルート)  
広島交響楽団

PROGRAM

P.ブレーズ 作曲/メモリアル 独奏フルートと、8つの楽器のための

川上 統 作曲/樟木【委嘱・世界初演】

金井 勇 作曲/凝視【委嘱・世界初演】

～ 休憩 ～

P.ブレーズ 作曲/メモリアル 独奏フルートと、8つの楽器のための

細川俊夫 作曲/旅IX -目覚め- ギターと弦楽、打楽器のための【日本初演】

～アフタートーク～

平成29年

# 6月16日(金)

## JMSアステールプラザ

オーケストラ等練習場 (広島市中区加古町4-17)

■18時30分開場 ■19時開演

■入場料 一般 2,500円 (当日3,000円) 学生 1,500円 (当日2,000円)

※全席自由・消費税込み ※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。 ※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はいたしません。

○主催○ひろしまオペラ・音楽推進委員会、広島市、(公財)広島市文化財団 アステールプラザ、中国新聞社  
○助成○平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業、私的録音補償金管理協会(sarah)  
○後援○広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz





# 次世代の作曲家たち



日本を代表する現代音楽作曲家 細川俊夫がお届けする HIROSHIMA HAPPY NEW EAR(広島の新しい耳)シリーズ。

第23回目は、細川俊夫が目にする二人の若手作曲家に「ヒロシマ」をテーマにした作品を委嘱し、

川瀬賢太郎の指揮、広島交響楽団(室内オーケストラ編成)の演奏で世界初演します。

また現代の優れた作品を併せて紹介。実力派ギター奏者の福田進一をソリストに迎えて細川俊夫作曲「旅IX-目覚め」、広島交響楽団フルート奏者の森川公美によるブレーズ作曲「メモリアル」の2作品を演奏します。

広島から世界へ発信するHIROSHIMA HAPPY NEW EAR シリーズ。広島が歩んできた道に想いを馳せ新しい音楽で未来へと繋がります。

## 金井 勇 【委嘱作曲家】

東京音楽大学作曲専攻卒業。同大学院修了。これまでに作曲を池辺晋一郎氏、細川俊夫氏、湯浅譲二氏及び三木稔氏に師事。また指揮を汐澤安彦氏に、卒業を西原祐二氏に師事。2003年第72回日本音楽コンクール作曲部門第2位入賞。2005年第16回朝日作曲賞入賞。2006年第22回名古屋文化振興賞受賞、同年、第6回武生作曲賞受賞。2008年フランス・ロワイヨモンVoix Nouvelle2008奨学生。2012年及び2015年武生国際作曲ワークショップ招待作曲家。



## 川上 統 【委嘱作曲家】

1979年、東京生まれ。東京音楽大学音楽学部音楽学科卒業、同大学院修了。作曲を湯浅譲二、池辺晋一郎、細川俊夫、久田典子、山本裕之の各氏に師事。2003年、第20回現音新人作曲賞受賞。2009、2012、2015年に武生国際音楽祭招待作曲家として参加。2010年、武生からの交換作曲家としてフランスのロワイヨモン作曲セミナーに参加。2011年、HIROSHIMA HAPPY NEW EAR XIにて作品「軍鶏」が演奏される。2014年、just composed in YOKOHAMA委嘱作曲家。同年、韓国の大邱国際現代音楽祭に招待される。Ensemble Contemporary a, ROSCO、voxhumana、混声合唱団「空」、東京現音計画、next mushroom promotionなどの様々なアンサンブル、演奏家からの委嘱初演がなされている。Tokyo Ensemble Factory musical adviser、Ensemble Contemporary a作曲メンバー。作曲作品は生物の名が多い。現在、国立音楽大学、成徳短期大学、東京音楽大学付属高等学校で非常勤講師を務める。



## 福田進一 【ギター】

パリ・エコールノルマル音楽院を首席で卒業。1981年パリ国際ギターコンクール優勝。以後35年、ソロ・リサイタル、主要オーケストラと協演、ウルグアイのギタリストE.フェルナンデスとのデュオをはじめとする超一流ソリストとの共演など国際的な演奏活動を続け、世界的な評価を獲得している。近年では、キューバの巨匠レオ・プロウエルから協奏曲「コンチェルト・ダ・レイクエム」を献上され、2011年秋のブラジルのサンパウロ交響楽団の南米ツアーは大成功を収めた。教育活動にも力を注ぎ、門下からは鈴木大介、村治佳織、大萩康司といったギター界の実力派スターたちを輩出している。発表したCDは既に80枚を超え、今夏にはファイオリンのライナー・キュヒル氏とのデュオCDがリリース予定。平成19年度外務大臣表彰。平成23年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。上海音楽院、大阪音楽大学、広島エリザベト音楽大学、昭和音楽大学客員教授。



## 森川公美 【フルート】

京都市立芸術大学在学中にフランスへ渡り、パリ国立高等音楽院、パリ・エコール・ノルマル音楽院を卒業。在仏中はフランス各地で室内楽、リサイタル、現代音楽の新作初演などの活動を行う他、イスラエル、チェコ共和国の音楽祭にリソリストとして出演。1999年第4回びわ湖国際フルートコンクール第2位。2002年に帰国したのち、関西を中心にオーケストラ客演や古楽アンサンブルなどで活動し、2004年広島交響楽団へ入団。2016年9月には広島交響楽団 秋山和慶のディスカバリーシリーズで武満徹「海へ」のソリストを務める。広島文化学園大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。これまでにフルートを飯嶋豊、伊藤公一、白石孝子、ゾフィー・シエリエ、ビエール・ユグ・アルトの各氏に、ピッコロをビエール・デュメイユ氏に、バロックフルートをビエール・セシェ氏に師事。



## 川瀬 賢太郎 【指揮】

1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲専攻(指揮)を卒業。これまでに、ピアノ及びスコアリーダーを島田玲子、指揮をピア上淳一、汐澤安彦、ジョン・ミンファン、アーリル・レンメイトの各氏に師事。2005年レインボウ21デビューコンサート2005(サントリーホール)に出演。2006年10月に行われた東京国際音楽コンクールに指揮として1位なしの2位(最高位)に入賞し、2007年3月には入賞者デビューコンサートで神奈川フィルハーモニー交響楽団および大阪シンセチア交響楽団を指揮。その後、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団を始め、各地のオーケストラから次々に招きを受ける。また、2009年6月群馬交響楽団定期公演に、2010年東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団の定期公演にそれぞれデビューを果たす。2012年1月には、細川俊夫作曲 平田オリザ演出、オペラ「班女」広島公演で指揮し、オペラデビュー。海外においても2008年と2011年にイルド・フランス国立オーケストラと共演。また、2012年にはユニテッド・ド・インストゥルメンツ・オヴ・シルシと細川俊夫作曲モノドラマ「大鷲」オランダ初演を成功させた。2014年には「大鷲」日本公演として、東京、広島それぞれの公演を成功裡に終えた。2015年2月には、細川俊夫作曲オペラ「リアの物語」新演出を広島にて指揮、喝采を浴びる。また、2015年9月にはひろしまオペラ・フェスティバル公演にてモーツァルト作曲オペラ「フィガロの結婚」を、2016年11月には日生劇場 NISSAY OPERA2016にてモーツァルト作曲オペラ「後宮からの逃走」を、2017年3月にはiichiko総合文化センター・神奈川県民ホール・東京二期会・神奈川フィルハーモニー交響楽団 共同制作公演モーツァルト作曲オペラ「魔笛」を指揮、躍動が溢れる演奏を聴衆に届けた。2007年～2009年パンフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)アシスタント・コンダクター。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者、神奈川フィルハーモニー交響楽団常任指揮者、八王子ユース弦楽アンサンブル音楽監督、三重県いなべ市親善大使、2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第64回神奈川文化賞未発表賞、2016年第14回藤原秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞、第65回横浜文化賞文化賞・芸術奨励賞を受賞。



## 細川俊夫 【音楽監督・お話し】

1955年広島生まれ。1976年から10年間ドイツ留学。ベルリン芸術大学でコン・イサンに、フライブルク音楽大学でクラウス・フーバーに作曲を師事。1980年、ダルムシュタット国際現代音楽夏講習に初めて参加。作品を発表する。以降、ヨーロッパと日本を中心に、作曲活動を展開。日本を代表する作曲家として、欧米の主要なオーケストラ、音楽祭、オペラ劇場等から次々と委嘱を受け、国際的に高い評価を得ている。2004年のエクサンプロヴァンス音楽祭の委嘱による2作目のオペラ「班女」(演出=アンヌ・テラサ・ドゥ・ケースマイケル)、2005年のザルツブルク音楽祭委嘱のオペラ作品「循環する海」(世界初演=ウィーン・フィル)、第5回ロシュ・コミッション(2008年)受賞による委嘱作品である2010年世界初演のオーケストラのための「夢を織る」(クレーヴランド管弦楽団によって、ルツェルン音楽祭、カーネギーホール等で初演)、2011年のモネ劇場の委嘱によるオペラ「松風」(演出=サシャ・ヴァルツ)、ベルリン・フィルハーモニー交響楽団とパーバカン・センター、コンセルトヘボウの共同委嘱による「ホルン協奏曲-開花の時-」といった作品は、大野和土、準・ルルク、ロビン・ティチャーティ、サイモン・ラルトなど、世界一流の指揮者たちによって初演され、その多くはすでにそれぞれのジャンルにおけるレパートリーとして演奏され続けている。2013年のザルツブルク音楽祭では、二度目となる同音楽祭委嘱作品、ソプラノとオーケストラのための「嘆きの」初演をはじめ、アンサンブル・ウィーン=ベルリン委嘱作品「古代の声」の初演ほか、多くの作品が演奏された。2001年にドイツ・ベルリンの芸術アカデミー会員に選ばれた。東京交響楽団1998-2007、ベルリン・ドイツ交響楽団2006/2007シーズン、および西ドイツ放送局合唱団2006-2008、ネーデルランド・フィルハーモニー交響楽団2013/2014、シーズンのコンポーザー・イン・レジデンスを歴任。2012年秋、紫綬褒章を受賞。2015年には、モーツァルト・フェスティバル(ヴェルツブルク)のコンポーザー・イン・レジデンス。2016年ハンブルク国立歌劇場の委嘱による新作オペラ「海、静かな海」(指揮:ケント・ナガノ、原作/演出:平田オリザ)が初演され、大きな成功を収めた。武生国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学およびエリザベト音楽大学客員教授。



## 広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリーシリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」第54回中国文化賞「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。公式ホームページhttp://hiryoku.or.jp/

## ○入場料

一般 2,500円 (当日 3,000円) 学生 1,500円 (当日 2,000円)

\*全席自由・消費税込み  
\*※学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。  
\*※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はいたしません。

## ○チケット販売所

- エディオン広島本店 082-247-5111
- JMSアステールプラザ 082-244-8000
- 福屋広島駅前店 082-568-3942
- 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:327-338)
- 小夜曲(セレナード) 082-246-7727
- ローソンチケット 0570-084-006 (Lコード:62692)
- 中国新聞社読者広報部 082-236-2455
- オンライン販売 http://h-culture.jp/opera/ticket/

## ○お問い合わせ

ひろしまオペラ・音楽推進委員会 〒730-0812 広島市中区加古町4-17  
TEL 082-244-8000 http://h-culture.jp/opera/classic/

## ○アクセス

※自家用車の来場はご遠慮ください。



アクセス(JR広島駅から)  
■市内電車「広島港(紙屋町経由)」行きで「市役所前」下車 徒歩3分、「江波」行きで「舟入」下車 徒歩5分  
■市内バス「広島バス」吉島営業所行き、または「吉島病院」行きで、「加古町」下車 徒歩1分  
■タクシー 約15分